

令和4年度第3回 独立行政法人労働者健康安全機構契約監視委員会〔概要〕

開催日時	令和4年12月16日 15:10～17:10
委員	田極 春美 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員) 竹内 啓博 (公認会計士) 遠藤 和夫 (独立行政法人労働者健康安全機構監事)
審議事項	1. 令和4年7月から令和4年9月までに締結した契約の点検・見直しについて
議事概要	<p>1. 契約の点検・見直しについて</p> <p>令和4年7月から令和4年9月までに締結した契約(398件)について、競争性の確保、コスト削減等の観点から点検すべき案件として選定した契約案件(7件)について審議。</p> <p>【主な指摘事項】</p> <p>○随意契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「MRI装置修繕(傾斜磁場コイル交換)」について、当該機器を製造したメーカーでなければ実施が困難であることから、今回の調達は止むを得ないものと思料される。なお、随意契約の場合でも価格交渉は引き続き行うように留意すること。 <p>○一者応札・応募</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地震被害復旧工事」について、本件は、損壊箇所の崩落等による二次災害を引き起こす可能性があり、速やかに復旧工事を実施する必要があったことから、緊急随契で調達することも可能であったと考える。ただし、緊急随契を選択する場合でも価格の精査は求められること。 ・「臨床工学技士室改修工事」について、今後は、①公告期間を可能な限り確保しつつ、②複数業者への声掛けを積極的に行うことで、競争が働く環境づくりに努めること。 ・「管理棟ネットワーク敷設工事」について、今後は、事前に資格要件の設定が適切であるか複数の業者から意見を徴取することを検討すること。また、今回は実施しなかった入札説明会を実施することで、より多くの業者参加を促すよう努めること。 ・「手術支援ロボット」について、他者の手術支援ロボットの開発状況にも注視しつつ、医療安全面への影響を考慮した上で仕様書を作成する等、競争が働く環境づくりに努めること。 ・「介護施設を対象とした現場介入調査の研究支援業務」について、今後は、事前に資格要件の設定が適切であるか複数の業者から意見を徴取することを検討すること。また、今回は実施しなかった入札説明会を実施することで、より多くの業者参加を促すよう努めること。さらに、個人情報の取扱に留意すること。 ・「放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究」に係る健康診断協力機関に対する管理統括業務」について、放射線業務従事者を対象とする健診管理業務として、基本健診に係る契約と多項目健診に係る契約を統合することを検討する必要がある。その際、効率的な業務遂行の観点から費用低減を図るべきであること。